

シェーン (1953)

SHANE

メディア	映画
ジャンル	西部劇
製作国	アメリカ
色彩	Color
時間	118分
初公開日	1953/10/01
公開情報	P A R
映倫	G
	1973/02 [C I C]
リバイバル	1975/09 [富士]
	2016/04/09 [東北新社] (デジタルリマスター版)

【キャッチコピー】

映画史上、かつてない感動を呼んだ不滅の名作！

曙光の中静かに去っていく男の背に 『シェーン！カムバック』あの少年の声が切なく、いつまでもこだまする（リバイバル時）

【解説】

おそらく、西部劇史上、十指に数える事に異論はないであろう傑作。舞台は緑麗しいワイオミングの高原地帯。縁あって開拓移民のスターレット一家に厄介となる、旅人シェーン。折しも、この地では開拓移民と牧畜業者の間で土地をめぐる諍いが起こっていた。やがて、スターレット一家にもその騒動が飛び火してきた時、世話を受けていたシェーンは、彼らの間に割って入っていく……。西部の股旅物としてはまことにオーソドックスな展開なるも、全てのスタッフ・キャストによる奇跡のコラボレーションがこの名作を造りあげた。風景描写・人物描写共に丹念かつリアルな演出を施した監督のG・スティーヴンス。J・シェーファアの原作を基に、あくまでも子供の視点から物語を構築させ、英雄譚と人情劇を融合させた脚本。ワイオミングの美しい山間風景の中にキャラクターを確実に捉えた撮影。そして、主題曲『遙かなる山の呼び声』の余韻も忘れ難い、調べの数々。シェーンに扮するA・ラッドは一世代と言っていい快演を見せ、その早撃ちシーンと相俟って観客に永遠に記憶されるであろう主人公となり、一家の父＝V・ヘフリンと母＝J・アーサー、この映画の語り手でもある少年ジョイ＝B・D・ワイルドも正に適役。そして、実は少ない登場シーンながらも強烈なインパクトを残して消えていくJ・パランスの黒づくめのガンマン。語るべき要素は枚挙に暇がない。優れた西部劇は少なくないが、ここまで多くの人に愛された作品はそうあるものではない。大衆性と娯楽性の両方を持ち合わせているからこそポピュラーとなるのだ。それは10年以上経ってから、同名のTVシリーズ（主演はデヴィッド・キャラダイン）になった事でも明らかであろう。

【クレジット】

監督	ジョージ・スティーヴンス	George Stevens
製作	ジョージ・スティーヴンス	George Stevens
原作	ジャック・シェーファア	Jack Schaefer
脚本	A・B・ガスリー・J r	A.B. Guthrie Jr.
撮影	ロイヤル・グリッグス	Loyal Griggs
特殊効果	ゴードン・ジェニングス	Gordon Jennings
編集	ウィリアム・ホーンベック	William Hornbeck
音楽	ヴィクター・ヤング	Victor Young

出演	アラン・ラッド	Alan Ladd	シェーン
	ヴァン・ヘフリン	Van Heflin	ジョー・スターレット
	ジーン・アーサー	Jean Arthur	マリアン・スターレット
	ブランドン・デ・ワイルド	Brandon de Wilde	ジョーイ・スターレット
	ウォルター・ジャック・パランス	Walter Jack Palance	ジャック・ウィルソン
	エミール・メイヤー	Emile Meyer	ルーフ・ライカー
	ベン・ジョンソン	Ben Johnson	クリス・キャロウェイ
	エリシャ・クック・J r	Elisha Cook Jr.	フランク・”ストーンウォール”・トーリー
	エドガー・ブキャナン	Edgar Buchanan	フレッド・ルイス
	ダグラス・スペンサー	Douglas Spencer	アクセル・”スウェード”・シップステッド
	ジョン・ディークス	John Dierkes	モーガン・ライカー
	ポール・マクヴィ	Paul McVey	サム・グラフトン
	エレン・コービー	Ellen Corby	リズ・トーリー